

令和7年度事業報告

令和7年11月に「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」(以下「再資源化事業等高度化法」)が全面施行された。この法律は、これまで廃棄物処理法の下で事業を行ってきた当業界にとって、まったく新しい枠組みと言えるものである。

このような変革期の中、当協会では8つの委員会と2つの部会を活動の柱として、定款に定める次の6つの事業で、調査研究、研修及び普及啓発並びに人材育成等に取り組んだ。

I 産業廃棄物の適正処理、再生利用及び資源循環等を推進するための調査研究、普及啓発並びに相談、指導助言等に関する事業

調査研修委員会(石坂典子委員長)では、県外施設研修会を実施した。

普及指導委員会(関根執委員長)では、県内4地区において地区懇談会を開催し、県や政令市との信頼関係の醸成を図った。また、会報「けやき」を発行し、会員及び関係者への情報提供を行った。

収集運搬委員会(関根執委員長)では、「物流効率化法」や「貨物自動車運送事業法」の改正に伴う実態調査や情報提供を行った。

中間処理委員会(山口徹委員長)では、外国人就労制度や再資源化事業等高度化法に関する講習や情報共有を行うとともに、県が設置する太陽電池モジュールのリサイクル協議会の活動を行った。

建設廃棄物委員会(桑原幹夫委員長)では、関東地域協議会活動の他、県が主催する廃石膏ボードのリサイクルに係る意見交換会に参加した。

安全衛生委員会(福田寛栄委員長)では、近年の気温上昇に対応するため、職場における熱中症対策に関する各種事業を実施した他、重点事業として、安全衛生コミュニケーションや労働安全衛生大会の開催など労働災害防止対策の強化に引き続き取り組んだ。

その他、各種通知の発出、協会だより、けやきニュース、ホームページ等による情報提供に努めるとともに、会員や排出事業者等からの相談に適切に対応した。

II 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成に関する事業

調査研修委員会では、県との共催による産業廃棄物適正処理講習会を実施した。コロナ禍以降リモート開催としていたが、5年ぶりに実地で開催した。(リモートとのハイブリッド開催)

また、「スキマ時間に手軽に視聴できる15分間のオンライン講習会」をコンセプトに、サクッと

リモート講習会(サクリモ講習会)を新企画として実施した。

さらに、県と連携して実施している「環境産業へのステージアップ事業」として、3S運動に積極的に取り組んだ。

人材育成については、青年部会(鈴木拓海部会長)・女性部会(栃原綾子部会長)を中心に研修・交流事業を実施し、新入社員の定着等を目的とした「環境産業合同入社式」を県と共同開催した他、中堅職員を対象とした「現場指導者育成研修」に参加した。

III 産業廃棄物の不適正処理対策に関する環境保全事業

さいたま環境整備事業推進積立金(けやき積立金)の保全や運用について、埼玉県と随時調整を行った。

令和8年1月に県から支援要請を受けた小規模投棄廃棄物撤去事業(飯能市、2件)について、3月に廃棄物の撤去を行い、迅速かつ適正に原状回復と周辺環境の保全を図った。

IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

重点事業として、災害廃棄物処理支援体制の強化に取り組んだ。

埼玉県との「地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定書」を適切に運用するため、県主催の研修会に参加した他、相互応援協定を締結している関東地域協議会において情報収集や意見交換を行うなど、災害廃棄物委員会(八木三郎委員長)を中心に万が一の災害に適切に支援できるよう備えた。

V 地方公共団体等からの受託事業

「排出事業者適正処理推進に係る受付等業務」及び「排出事業者及び処理業者に対する実務研修に係る業務」を県から受託し、適切に実施した。

VI その他法人事業等

その他この法人の目的を達成するために必要な事業として、定款に規定されている総会、理事会、常任理事会を実施した他、関係行事等への参加及び団体要望を実施した。

令和8年3月31日現在の協会会員数は、正会員382社(対前年度3社減)、賛助会員58社(対前年度4社増)、計440社(対前年度1社増)である。

I 産業廃棄物の適正処理、再生利用及び資源循環等を推進するための調査研究、普及啓発並びに相談、指導助言等に関する事業

1 調査研究及び適正処理の推進

調査研究及び適正処理の推進については、主に各委員会において企画、検討して事業を進めた。

(1) 調査研修委員会(石坂典子委員長)

ア 視察研修会

実施日 令和7年11月21日

視察先 東武商事株式会社 那須総合リサイクルセンター(栃木県那須塩原市)

参加者 31名

(2) 普及指導委員会(関根執委員長)

ア 地区懇談会(県、政令市と協会の意見交換会)の企画

当協会独自の事業としての地区懇談会を、県産業廃棄物指導課と各環境管理事務所、各政令市の支援のもと開催し、行政担当者と会員との意見交換を通じて信頼関係の醸成を図った。

年月日	地区	場所	行政機関	参加者
R7.10.14	中央	さいたま共済会館	埼玉県、さいたま市、川口市	18名
R7.10.23	東部・越谷	春日部市民文化会館	埼玉県、越谷市	26名
R7.11.17	西部・東松山	ウェスタ川越	埼玉県、川越市	42名
R7.11.28	北部・秩父	熊谷文化創造館	埼玉県	23名
計				109名

(令和6年度合計参加者115名)

イ 事業所訪問(会報「けやき」96号関係)

日時: 令和8年11月23日

場所: 株式会社木下フレンド本社

(3) 収集運搬委員会(関根執委員長)

ア 埼玉県不正軽油撲滅対策協議会 書面開催

イ 令和7年度九都県市エコドライブセミナーinさいたま(当協会後援)

日時 令和8年2月25日(水)

場所 浦和コミュニティセンター

主催 さいたま市環境局、九都県市首脳会議

ウ 改正「貨物自動車運送事業法」に関するアンケート

(4) 中間処理委員会(山口徹委員長)

ア 太陽電池モジュールのリサイクル協議会(県設置)

①第1回 令和7年7月24日(木)

開催方式 リモート

②第2回 令和7年11月6日(木)

場所 埼玉会館(オンライン同時開催)

③第3回 令和8年2月20日(金)

場所 さいたま共済会館(オンライン同時開催)

イ 埼玉県環境保全連絡協議会意見交換会

日時 令和8年3月9日(月)

場所 埼玉会館

内容 ・意見交換(義務化された熱中症対策への取組みについて)
・県庁各課からの情報提供

(5)建設廃棄物委員会(桑原幹夫委員長)

ア 関東地域協議会関係

①「建設産業廃棄物の委託処理をされる皆様へ」のリーフレット作成における実態調査

② 第1回建設廃棄物対策委員会及び実務担当者会議

開催日時 令和7年7月3日(木)

開催方式 リモート

議題 アンケート調査の実施他

③ 第2回建設廃棄物対策委員会及び実務担当者会議

開催日時 令和7年9月26日(金)

場所 法曹会館

議題 建設廃棄物処理・処分実態調査について

イ 石膏ボードのリサイクルに係る意見交換会(県産業廃棄物指導課主催)

① 第1回

日時 令和7年9月19日(金)

場所 埼玉会館

② 第2回

日時 令和8年3月12日(木)

場所 埼玉県庁第3庁舎

(6)安全衛生委員会(福田寛栄委員長)

ア 熱中症対策セミナーへの参加

主催 埼玉労働局

日時 令和7年4月23日(水)

会場 埼玉労働局およびオンライン(Zoom)

受講者 28名(会場及びオンライン参加計)

イ 埼玉労働局から熱中症対策に係る要請

日時 令和7年5月30日(金)

会場 埼玉労働局

ウ 労働災害防止の啓発

令和7年8月5日(火)、会員企業において死者4名の労働災害が発生したことを受け、会長名で全会員あてに「産業廃棄物処理に係る労働災害防止の徹底について」を通知した。

エ 第1回委員会

日時 令和7年10月1日 さいたま共済会館

オ 安全衛生コミュニケーション

日時 令和7年11月6日

視察先 ツネイシカムテックス株式会社

参加者 5名

カ 労働安全衛生大会の開催

日時 令和8年3月13日 14時から

場所 埼玉県県民健康センター

講習1 産業廃棄物処理業における労働災害の発生状況と安全衛生

講師 川又 裕子氏(埼玉労働局労働基準部健康安全課長)

講演2 廃棄物処理業における安全衛生

講師 二階堂 久氏(二階堂労働安全コンサルタント事務所長)

事例発表 ツネイシカムテックス株式会社

発表者 齊藤 定男 氏(埼玉環境事業部埼玉営業課次長)

参加者数 90名

ク 安全衛生標語、ヒヤリハットの募集

標語応募 108作品(令和6年度実績105作品)

標語募集チラシの作成 400部

ヒヤリハット事例 37件(令和6年度実績18件)

ヒヤリハット事例集の作成 400部

ケ 労働安全衛生関係表彰

安全優良職長表彰 5名

蛭子博之(石坂産業株式会社)

田中英之(石坂産業株式会社)

鈴木 茂(株式会社クリーンテックサーマル)

田上昭彦(東武商事株式会社)

小結資育(株式会社トモノ)

安全優良事業所表彰 1社

2 マニフェスト制度の普及促進

ア マニフェスト頒布実績

種類	令和7年度	令和6年度
連合会マニフェスト	219, 500部	210, 300部
建設系マニフェスト	195, 810部	181, 500部
計	415, 310部	391, 800部

イ マニフェスト価格の改定

令和7年4月1日に全国産業資源循環連合会発行の紙マニフェストの譲渡価格が改定(値上げ)されたことに伴い、令和7年9月1日に当協会の販売価格も改定(値上げ)した。
改定に伴い、新たに会員価格を設定した。

なお、建設系廃棄物マニフェストの価格については改定していない。

3 相談指導・普及啓発

(1) 廃棄物処理に関する処理業者・排出事業者・県民からの相談等

会員や排出事業者、県民から643件の相談があり適切に対応した。(6年度516件)

特に会員等の処理業者からの相談には、行政との連携のもと適切な指導・助言に努めた。
また、排出事業者等からの相談には、会員の処理事業者を紹介するなど適正処理の促進に努めている。

(2) 情報提供

啓発事業としては、法令の運用、事故・災害防止に関する通知等のほか、会報「けやき」及び「協会だより」の発行した。また、迅速に情報提供するためにメール配信サービス「けやきニュース」と協会ホームページでのお知らせを実施した。

ア 会報「けやき」の発行＜普及指導委員会＞

・No. 95 令和7年7月発行 470部

・No. 96 令和8年1月発行 470部

イ 協会だより 令和7年4月、6月、10月、12月発行 各500部

ウ メール配信サービス「けやきニュース」 32回配信(購読アドレス数389)

エ 協会ホームページお知らせ 158本

(3) 許可満了期限に関する事前通知

108通(令和6年度実績 120通)

4 関係団体・行政との会議・交流等

(1) 公益社団法人全国産業資源循環連合会関係

① 第15回定時総会

日時 令和7年6月20日

場所 明治記念館(東京都)

② 第1回資源循環と環境を考える全国大会

日時 令和7年10月31日(金)

場所 グランドメルキュール札幌大通公園(北海道)

③ 令和7年度全国正会員会長会議(欠席)

日時 令和8年2月13日(金)

場所 徳島グランヴィリオホテル(徳島県)

④ 全国正会員事務責任者会議 令和8年 2月 3日(オンライン参加)

⑤ 全国正会員事業研修 令和7年11月27日(オンライン参加)

(2)関東地域協議会

① 第74回協議会 令和7年 4月15日(東京都開催)

② 建設廃棄物対策委員会<建設廃棄物委員会>

令和7年 7月 3日(オンライン)

令和7年 9月26日(東京開催)

③ 一都三県意見交換会 令和7年 8月 6日(東京開催)

④ 事務責任者会議 令和7年11月 5日(オンライン)

⑤ 第75回協議会 令和7年11月19日(群馬県開催)

⑥ 事務担当者会議 令和8年 1月 9日(東京都開催)

⑦ 事務責任者会議 令和8年 3月27日(オンライン)

Ⅱ 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成に関する事業

1 県との共催の講習会

産業廃棄物適正処理講習会＜調査研修委員会＞

日時 令和8年1月28日 13:30～16:30

場所 埼玉県県民健康センター

開催方式 対面・Teamsウェビナーによる同時配信

講習1 違反事例から学ぶ廃棄物処理の基本と応用について

講師 佐藤 泉氏(佐藤泉法律事務所 弁護士)

講演2 再資源化事業等高度化法の概要について

講師 改田 耕一氏(公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団資源循環推進部兼業務課 シニアエキスパート)

参加者数 201名(対面45名 リモート156名)

2 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターからの受託事業として、オンライン講義または対面講義と会場試験を組み合わせた産業廃棄物に関する講習会を行った。

① 新規(産廃)／収集運搬課程 延べ5回 受講者653名

令和7年5月22日、6月13日、7月9日～7月10日(対面形式)、9月5日、11月28日

② 新規(特管)／収集運搬課程 延べ1回 受講者37名

令和7年11月27日

③ 新規(産廃)／収集運搬課程・処分課程(同時) 延べ1回 受講者19名

令和7年5月23日

④ 新規(特管)／収集運搬課程・処分課程(同時) 延べ1回 受講者8名

令和7年11月27日

⑤ 更新(産廃又は特管)／収集運搬課程 延べ8回 受講者1090名

令和7年5月22日、6月12日、6月13日、9月5日、10月9日(対面形式)

11月28日、令和8年2月26日(対面形式)、2月27日

⑥ 更新(産廃又は特管)／収集運搬課程・処分課程(同時) 延べ2回 受講者98名

令和7年5月23日、令和8年1月22日～1月23日

⑦ 特別管理産業廃棄物管理責任者 延べ5回 受講者605名

令和7年5月23日、6月12日、9月4日(対面形式)、10月10日、11月27日

合計 延べ23回 受講者2,510名

(令和6年度実績 延べ22回 受講者2,310名)

3 3S運動の推進

県と連携して「産業廃棄物処理業者3S運動」(スマイル・セイケツ・スタイル)を推進し、会員会社等における優れた取組に対して、県知事表彰が贈呈された。

ア 3S運動推進協議会

令和7年 7月29日 オンライン開催

令和8年 1月 8日 埼玉会館

令和8年 2月 4日 さいたま共済会館

イ 3S運動表彰 応募 延べ16社

表彰式 令和8年2月4日 さいたま共済会館

トップランナー賞		株式会社クマクラ（三芳町）
最優秀賞	スマイル	株式会社三裕（越谷市）
	セイケツ	木村建材工業株式会社（川越市）
	スタイル	株式会社三栄興業（三郷市）
奨励賞	スマイル	株式会社丸良商事（熊谷市）
	セイケツ スタイル	有限会社太盛（さいたま市）
特別賞	スマイル	株式会社エコ計画（嵐山町）
		株式会社木下フレンド（所沢市）
	セイケツ	化研興業株式会社（東松山市）
	スタイル	株式会社アルファサポート（伊奈町）
		松田産業株式会社（入間市）
新人賞		大林道路株式会社越谷アスファルト混合所（越谷市）

4 サクッとリモート講習会(サクリモ講習会)

「スキマ時間に手軽に視聴できる15分間のオンライン講習会」をコンセプトに、サクッとリモート講習会を新企画として実施した。

講習内容は録画し、会員向けにYoutubeで限定公開した。

第1回 令和7年5月27日(火)10:00～10:20＜中間処理委員会＞

テーマ:「廃棄物処理業界から見た 外国人就労制度の現状と展望」

講師:渡邊勝美氏(株式会社山一商事、ANSONG協同組合)

受講者:28名、視聴回数:77回

第2回 令和7年6月18日(水)15:00～15:30＜安全衛生委員会＞

テーマ:「職場における熱中症対策の具体」

講師:川又裕子氏(埼玉労働局健康安全課長)

受講者:20名、視聴回数:80回

第3回 令和7年7月7日(月)15:00～15:30

テーマ:「埼玉県におけるサーキュラーエコノミーの取組について」

講師:飯島秀明氏(埼玉県資源循環推進課サーキュラーエコノミー担当)

受講者:19名、視聴回数:44回

第4回 令和7年8月4日(月)15:00～15:30

テーマ:「埼玉県営の廃棄物最終処分場のご紹介」

講師:菅原利史氏(埼玉県環境整備センター管理運営担当)

受講者:8名、視聴回数:52回

第5回 令和7年9月9日(火)11:00～11:30<中間処理委員会>

テーマ:集中講座「再資源化事業等高度化法を知る」

超ざっくり再資源化高度化法

講師:芝田麻里氏(弁護士法人芝田総合法律事務所 代表弁護士)

受講者:30名、視聴回数:70回

第6回 令和7年9月12日(金)11:00～11:30<中間処理委員会>

テーマ:集中講座「再資源化事業等高度化法を知る」

高度化法が定める3つの類型

講師:芝田麻里氏(弁護士法人芝田総合法律事務所 代表弁護士)

受講者:25名、視聴回数:33回

第7回 令和7年9月24日(水)11:00～11:30<中間処理委員会>

テーマ:集中講座「再資源化事業等高度化法を知る」

廃棄物処分業者の判断基準となるべき事項と「特定廃棄物処分業者」

講師:芝田麻里氏(弁護士法人芝田総合法律事務所 代表弁護士)

受講者:19名、視聴回数:11回

第8回 令和7年9月24日(水)11:00～11:30<中間処理委員会>

テーマ:集中講座「再資源化事業等高度化法を知る」

この法律が目指す制度的手当と動静脈連携

講師:芝田麻里氏(弁護士法人芝田総合法律事務所 代表弁護士)

受講者:19名、視聴回数:17回

第9回 令和7年10月22日(水)15:00～15:30

テーマ:「産業廃棄物処理業更新許可申請添付書類の運用変更について」

講師:中野欽章氏(埼玉県産業廃棄物指導課収集運搬業担当)

受講者:20名、視聴回数:19回

第10回 令和8年1月19日(月)15:00～15:30

テーマ:「産業廃棄物処理業許可等に関する手続等を定める要領等の改正について」

講師:濱田光氏(埼玉県産業廃棄物指導課審査担当)

受講者:17名、視聴回数:19回

5 廃棄物処理業に係る人材育成

(1)青年部会(鈴木拓海部会長)

法令・技術面に習熟した人材の育成、後継者の育成等を図るため、青年部会は、勉強会、施設研修会、全国組織との交流事業などを実施するとともに、協会総会、講習会などに主体的に協力している。

ア 総会 令和7年5月23日(金) さいたま共済会館

イ 勉強会 「最近の国内・県内の経済情勢について」 講師:ぶぎん地域経済研究所 大西浩一郎氏

ウ 環境産業合同入社式における名刺交換会の運営

令和7年5月20日 さいたま共済会館 参加者14社29名

エ 県との座談会 令和7年7月11日(金) あけぼのビル 参加24名

オ 全体会議 毎月(会場とリモートでのハイブリッド形式)

カ 県庁オープンデー(県産業廃棄物指導課と協力してブースを出展)

令和7年11月14日 埼玉県庁

キ 施設研修会

令和7年9月12日～13日 サンコーリサイクル株式会社 オオブユニティ株式会社
参加者 13名

ク 関東ブロック会議 随時(会場とリモートでのハイブリッド形式)

ケ 全国青年部会長会議 令和7年10月30日(北海道)

コ 全国青年部全国大会 令和8年 1月30日(大阪府)

サ 関東ブロック会議賀詞交歓会 令和8年 2月 6日(山梨県)

(2)女性部会(栃原綾子部会長)

女性の視点から業界の活性化に寄与するという趣旨から、女性部会では、勉強会、全国組織との交流事業などを実施するとともに、協会総会、講習会などに主体的に協力している。

ア 研修会 令和7年4月16日～17日

全国産業資源循環連合会女性部会 鹿児島実践研修会

鹿児島県霧島市大崎町・衆人町小浜 小浜ビレッジ見学、株式会社ECOMMIT研修

イ 総会 令和7年6月11日

ウ 全国産業資源循環連合会女性部協議会第3回通常総会 令和7年6月20日

エ 関東地域協議会女性部会第9回通常総会・勉強会 令和7年9月18日

オ 施設研修会 有限会社山田総合企画 令和7年10月10日

カ 青年部会・女性部会合同研修会 令和7年10月28日

(3)環境産業合同入社式(県・協会共催)における名刺交換会

令和7年5月20日 埼玉会館 14社29名参加

(4)環境産業合同研修会

新規廃棄物処理業職員フォローアップ研修(県受託事業)

令和8年2月24日 リモート(ZOOM) 23名参加

(5)中堅社員研修

産業廃棄物処理業界現場指導者育成研修(県主催)

令和8年2月3日 TKP大宮駅西口カンファレンスセンター 27名参加

(6)表彰事業

ア 循環型社会形成推進功労者等表彰受賞者(以下敬称略)

産業廃棄物関係事業功労者等環境大臣表彰 木下公次(株式会社木下フレンド)

イ 埼玉県産業廃棄物関係環境衛生功労者等表彰受賞者

① 功労者知事表彰

木下公次(株式会社木下フレンド)

② 功労者部長表彰

桑原幹夫(株式会社クワバラ・パンぷキン)

③ 優良従事者環境部長表彰

原 圭 (株式会社環境サービス)

ウ 公益社団法人全国産業資源循環連合会表彰受賞者

① 地方功労者表彰

矢島孝昭(ウム・ヴェルト株式会社)

齊藤康祐(株式会社タカヤマ)

蜂須隆一(亀井産業株式会社)

② 地方優良事業所表彰

株式会社栄進

化研興業株式会社

③ 優良従事者表彰

村武宏紀(株式会社タカヤマ)

廣瀬 渉 (株式会社ホートー)

エ 一般社団法人埼玉県環境産業振興協会表彰受賞者

① 優良従業員表彰

長谷里江(株式会社ショーモン)

本多宏一(株式会社ショーモン)

房崎 立(株式会社木下フレンド)
山崎 雅之(野崎興業株式会社)
渡辺 一男(野崎興業株式会社)
戸井田 実(株式会社協和清掃運輸)
春日憲一郎(株式会社協和清掃運輸)
本間誠也(石坂産業株式会社)
発知 明(石坂産業株式会社)
五月女政夫(石坂産業株式会社)
瀧瀬 馨(東武商事株式会社)
山中憲一(東武商事株式会社)
羽田勝久(東武商事株式会社)
佐倉 誠(株式会社ケイ・エム環境)
伊藤雅俊(株式会社タカヤマ)

Ⅲ 産業廃棄物の不適正処理対策に関する環境保全事業

当協会は、廃棄物の山の撤去等による生活環境の原状回復・保全事業の推進に活用することを目的に、「さいたま環境整備事業推進積立金(以下「けやき積立金」)を設置している。

1 けやき積立金の運営・管理

けやき積立金は、「さいたま環境整備事業推進積立金運営委員会」において運営・管理している。令和7年度の収支は次のとおりである。

(1) けやき積立金会計

① 収入の部

埼玉県補填金	0円
市町村分担金	0円
協会からの繰入金	2,500,000円
寄付金	120,000円
雑収入	741円
収入合計	2,620,741円

② 支出の部

撤去対策事業費	1,997,082円
支出合計	1,997,082円

③ 積立金残額(7年度末) 511,331,605円

(2) さいたま環境整備事業推進積立金運営委員会

令和7年度第1回委員会

日時 令和8年1月26日(月)

場所 さいたま共済会館

委員 15名中14名出席

審議事項(すべて承認)

- ・放置事案改善事業事務処理要領の改正について
- ・飯能市の小規模投棄廃棄物撤去事業について

(3) さいたま環境整備事業推進積立金関係業者選定委員会

令和7年度第1回委員会

日時 令和8年1月26日(月)

場所 さいたま共済会館

委員 6名中3名出席

審議事項(承認・欠席2名は書面により承認)

- ・飯能市の小規模投棄廃棄物撤去事業2件の業者選定について

2 不法投棄等不適正処理廃棄物対策

当協会は、令和8年1月15日付けで埼玉県から支援要請を受け、令和8年3月に飯能市において「けやき積立金」を活用した小規模投棄廃棄物撤去事業を実施した。(事業実施者:株式会社大空リサイクルセンター)

(1)小規模投棄廃棄物撤去事業(飯能市長沢地区)

実 施 日 令和8年3月5日(木)

場 所 飯能市長沢地区

廃棄物撤去量 建設系混合廃棄物10m³

作 業 概 要 林道から斜面下に投棄され、散乱した廃棄物を重機と手作業により回収し、管理型最終処分場にて埋立処分

事 業 費 999,627円

再 発 防 止 策 土地所有者による境界柵の設置

(2)小規模投棄廃棄物撤去事業(飯能市坂石町分地区)

実 施 日 令和8年3月6日(金)

場 所 飯能市坂石町分地区

廃棄物撤去量 建設系混合廃棄物5m³、廃材類1m³

作 業 概 要 林道脇の山林地に投棄され、散乱した廃棄物を重機と手作業により回収し、中間処理及び管理型最終処分場にて埋立処分

事 業 費 997,455円

再 発 防 止 策 土地所有者による境界柵の設置

Ⅳ 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

災害廃棄物の処理支援等に関する事業は、災害廃棄物委員会(八木三郎委員長)を中心に万が一の災害に適切に支援できるよう備えている。

1 災害廃棄物委員会活動

災害廃棄物委員会(八木三郎委員長)

ア 委員会

日時 令和7年5月8日(木)

開催方式 リモート(Teams)

議題 災害廃棄物の処理に関する意見(関東地域協議会から全産連へ)について他

イ 関東地域協議会関係

① 災害廃棄物の処理に関する意見提出

提出日 令和7年5月8日

ウ 令和7年度災害廃棄物に係る研修会(県資源循環推進課主催)

① 第1回

開催 令和7年8月21日(木) 埼玉県県民健康センター

参加者 当協会員17名(全体79名)

② 第2回

開催 令和7年8月22日(金) 熊谷市文化創造館さくらめいと

参加者 当協会員20名(全体80名)

2 支援

実績なし

V 地方公共団体等からの受託事業

埼玉県から「令和7年度排出事業者適正処理推進に係る受付等業務」及び「令和7年度産業廃棄物排出事業者及び処理業者に対する実務研修に係る業務」を受託し、適切に実施した。

1 令和7年度排出事業者適正処理推進に係る受付等業務委託

ア 受託期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

イ 事前協議等受理件数

種類	件数	前年度件数
①事前協議等受理件数	217件	239件
②一括協議書受理件数	1件	1件
③変更届受付件数	0件	0件
④特例適用届出書受付件数	28件	56件
合計件数	246件	296件
⑤実績報告書受付件数	4,623件	3,907件
⑥処理業者紹介件数	643件	516件

2 令和7年度産業廃棄物排出事業者及び処理業者に対する実務研修に係る業務委託

ア 実施期間 ①～⑤は令和8年1月16日～2月25日、⑥は令和8年2月24日

イ 実施形式 オンライン

ウ 研修内容

コース	講師	受講者数
①法律研修コース(排出事業者用)	坂本啓太郎氏(日本産業廃棄物処理振興センター講師)	68名
②法律研修コース(処理業者用)	永嶋裕久氏(日本産業廃棄物処理振興センター講師)	77名
③廃棄物処理研修コース	藤井重雄氏(日本環境衛生センター専任講師)	79名
④安全衛生・事業場管理研修コース	熊江隆氏(元日本産業廃棄物処理振興センター講師)	55名
⑤廃棄物処理法における委託契約とマニフェスト制度コース	金子亮(埼玉県環境産業振興協会)	87名
⑥新規廃棄物処理業職員フォローアップ研修コース(環境産業合同研修会)	株式会社インソース	23名
計		389名

VI その他法人事業等

1 総会、理事会及び常任理事会

定款に基づき、総会、理事会及び常任理事会を適切に開催した。

(1) 総会

① 第13回定時総会

開催日 令和7年6月3日(火)

場所 ロイヤルパインズホテル浦和 さいたま市浦和区仲町2-5-1

出席正会員数 308社(出席64社、議決権の委任244社)

議事

(議案)

- ・令和6年度事業報告・決算報告承認の件
- ・監査報告

議案についてはすべて原案どおり承認された。

(報告事項)

- ・令和7年度事業計画・収支予算に関する件

② 臨時総会

開催なし

(2) 理事会

① 第1回理事会 令和7年 4月17日(木) 出席理事19名

② 第2回理事会 令和7年 5月15日(木) 出席理事17名

③ 第3回理事会 令和7年 7月17日(木) 出席理事16名

④ 臨時理事会 令和7年 8月 1日(金) 書面開催

⑤ 第4回理事会 令和7年10月16日(木) 出席理事17名

⑥ 第5回理事会 令和7年12月18日(木) 出席理事19名

⑦ 第6回理事会 令和8年 2月19日(木) 出席理事18名

⑧ 第7回理事会 令和8年 3月19日(木) 出席理事18名

(3) 常任理事会

① 第1回常任理事会 令和7年 6月19日(木) 出席理事 9名

② 第2回常任理事会 令和7年 9月18日(木) 出席理事11名

③ 第3回常任理事会 令和7年11月20日(木) 出席理事11名

④ 第4回常任理事会 令和8年 1月14日(木) 出席理事12名

2 関連行事等

(1) 全国植樹祭

令和7年 5月25日 秩父ミュージックパーク

(2)緑化推進委員会定時総会

令和8年3月25日 埼玉県県民健康センター 感謝状の受取

(3)感染症対策推進部会(県感染症対策課)

令和7年度第1回 令和7年6月 6日(オンライン開催)

令和7年度第2回 令和7年8月19日(オンライン開催)

令和7年度第3回 令和8年1月27日(オンライン開催)

3 団体要望

令和7年9月3日、「埼玉県への施策並びに予算編成に対する要望書」を自由民主党埼玉県支部連合会に提出した。(3件)

令和8年2月、自由民主党埼玉県支部連合会から対応状況が送付された。

(要望事項)

① 県が造成する産業団地への産業廃棄物処理業者の立地について

要望先:環境部、都市整備部、企業局

対応状況:引き続き、市町村に働きかける。(都市整備部、企業局)

② 産業廃棄物処理業許可申請に添付する講習会修了証の有効期間を5年とすることについて

要望先:環境部

対応状況:令和8年1月1日より、要望どおり5年間とした。(環境部)

③ 産業廃棄物処理業の環境産業へのステージアップ事業の充実について

要望先:環境部

対応状況:引き続き、取組を推進する。(環境部)